


## 分析報告書


 株式会社シーアールシー食品環境衛生研究所

〒813-0062 福岡市東区松島3丁目29番18号

| 表題 黒い毛状異物の分析  | 担当<br>梶 富 |
|---|-----------|
| <p>1. 目的<br/>黒い毛状異物について、分析調査する。</p>   |           |
| <p>2. 試料<br/>2-1 試料数 1試料<br/>2-2 試料名 毛状異物</p> <p>3. 内容及び結果</p> <p>3-1 外観観察<br/>「毛状異物」は黒色で、長さ約 5.2 cm である。</p> <p>3-2 スンプ法による表面構造の観察<br/>「毛状異物」および「ヒトの頭毛」の表面構造を写真-1、2に示す。「毛状異物」と「ヒトの頭毛」では小皮紋理の形状が異なっている。</p> <p>3-3 髓質の観察<br/>脱色処理した「毛状異物」および「ヒトの頭毛」の髓質の形態を写真-3、4に示す。毛髪の中央にある髓質が、「毛状異物」は「ヒトの頭毛」と比較して太くなっている。</p> <p>4. コメント<br/>黒い毛状異物は、表面構造および髓質の形態の比較から、人毛ではなく＜動物毛＞と推定される。</p> |           |
| <p>5. 使用分析機器<br/>透過型顕微鏡(オリンパス製)</p>   |           |
| 報告書 No.   | 070921112 |

## 試料の表面構造

(×200)

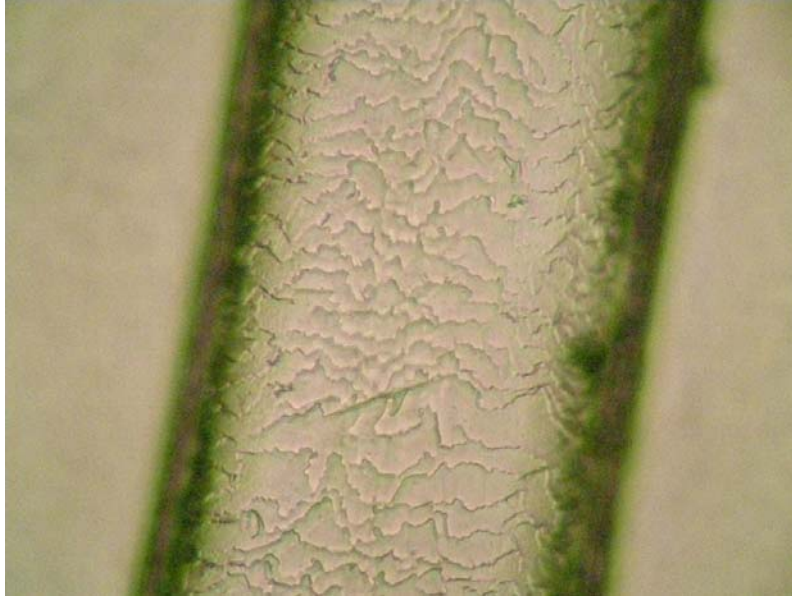


写真-1 「毛状異物」

(×200)

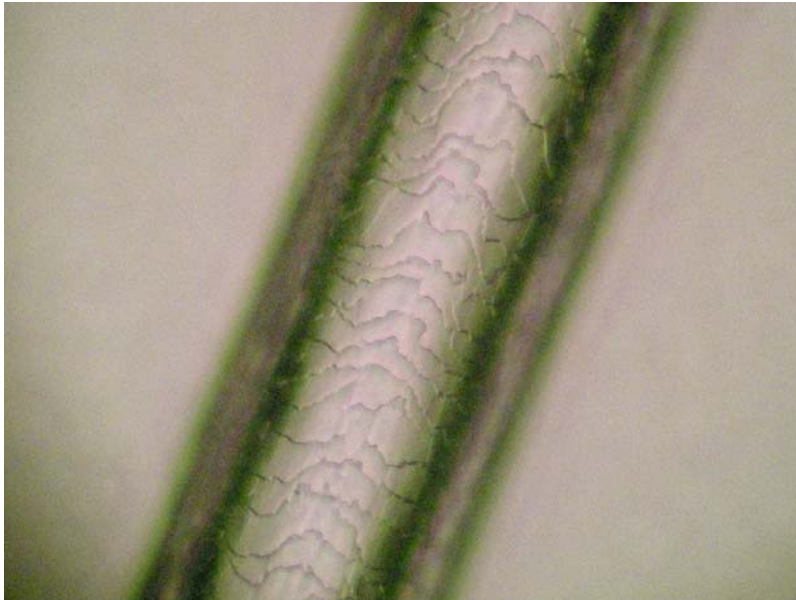


写真-2 「ヒトの頭毛」

試料の髄質の形態

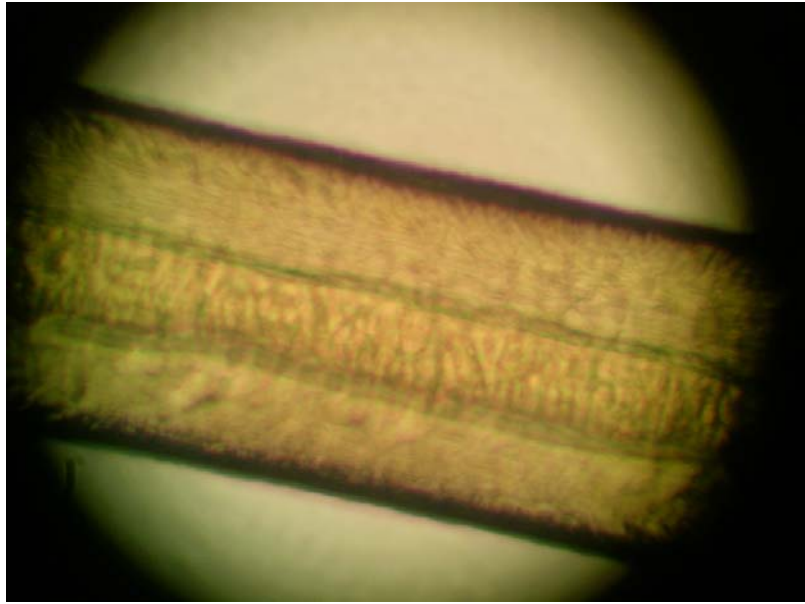


写真-3 「毛状異物」



写真-4 「ヒトの頭毛」

見本食品株式会社 御中

## 分析報告書

シーアールシー食品環境衛生研究所  
〒813-0062 福岡市東区松島3丁目29番18号

| 表題 青さ入りえび天ぷら変色部の分析  |                                  | 担当<br>梶 富 |
|---|----------------------------------|-----------|
| 1. 目的<br>青さ入り天ぷらの変色部について、分析調査する。  |                                  |           |
| 2. 試料<br>2-1 試料数 1試料<br>2-2 試料名 天ぷら変色部  |                                  |           |
| 3. 内容及び結果<br>3-1 外観観察<br>「天ぷら変色部」の外観写真を写真-1(A)に、拡大写真を写真-1(B)に示す。「天ぷら変色部」および「青さ」の透過型顕微鏡像(400倍)を写真-2および3に示す。透過型顕微鏡像では、「天ぷら変色部」は「青さ」とは異なっている。<br><br>3-2 元素分析<br>元素組成の定量分析結果から、「天ぷら変色部」の検出元素および主成分を表-1に、元素組成(%)を表-2に示す。「天ぷら変色部」からは、重金属である鉄(Fe)、クロム(Cr)、ニッケル(Ni)および銅(Cu)が検出された。鉄、クロムおよびニッケルは、ステンレス鋼の成分元素と推定される。 |                                  |           |
| 表-1   |                                  |           |
| 試料  | 検出元素                             | 主成分       |
| 天ぷら変色部  | C、Fe、Cr、O、Ni、Cl、Cu、K、N、P、S、Na、Ca | C、Fe      |
| 4. コメント<br>上記結果から、青さ入り天ぷらの変色部には、<ステンレス鋼および銅の破片>が含まれていると推定される。   |                                  |           |
| 5. 使用分析機器<br>電子線マイクロアナライザ[EPMA-8705](SHIMADZU 製)  |                                  |           |
| 報告書 No.   | 071016173                        |           |

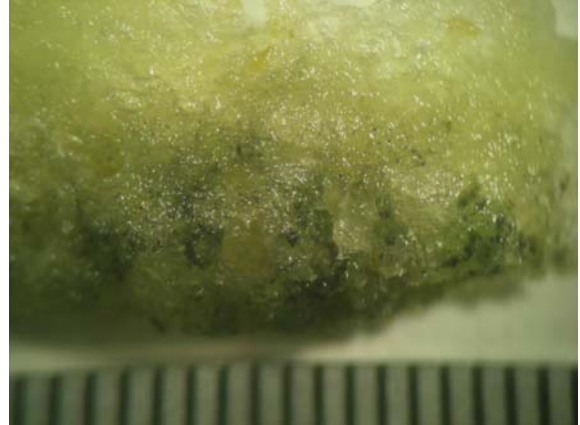
## 試料の外観観察

(A) 外観写真



( 1 目盛 0.5 mm)

(B) 拡大写真



( 1 目盛 0.5 mm)

写真-1 「天ぷら変色部」

## 試料の透過型顕微鏡像

(×400)

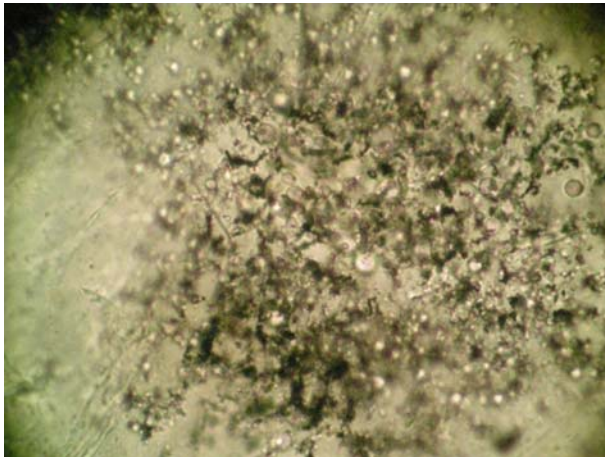


写真-2 「天ぷら変色部」

(×400)

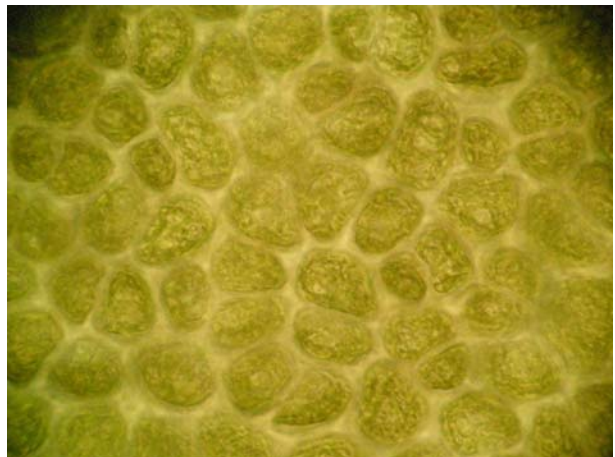


写真-3 「青さ」


## 試料の元素組成

| 元素名 | %    |
|-----|------|
| C   | 41.6 |
| Fe  | 26.1 |
| Cr  | 7.6  |
| O   | 7.2  |
| Ni  | 4.1  |
| Cl  | 4.1  |
| Cu  | 3.9  |
| K   | 1.8  |
| N   | 1.4  |
| P   | 0.8  |
| S   | 0.5  |
| Na  | 0.5  |
| Ca  | 0.3  |

表-2 「天ぶら変色部」

見本食品株式会社 御中

## 分析報告書

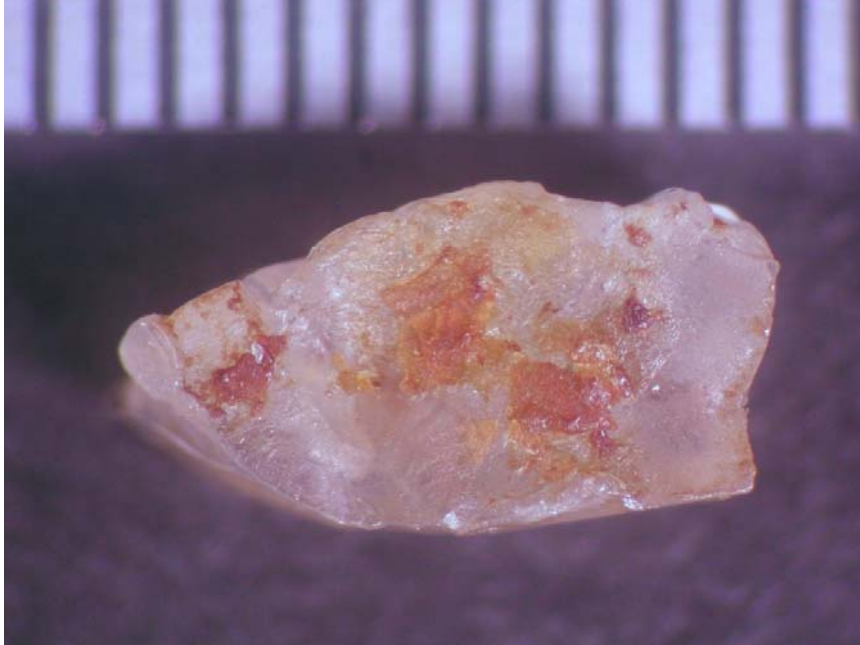

 株式会社シーアールシー食品環境衛生研究所

〒813-0062 福岡市東区松島3丁目29番18号

| 表題 商品混入異物の分析   |          | 担当<br>榎 富 |
|--|----------|-----------|
| <p>1. 目的<br/>商品(肉)の混入異物について、分析調査する。</p>  |          |           |
| <p>2. 試料</p> <p>2-1 試料数 1 試料</p> <p>2-2 試料名 混入異物</p>   |          |           |
| <p>3. 内容及び結果</p> <p>3-1 外観観察<br/>「混入異物」の外観写真を写真-1に示す。</p> <p>3-2 赤外吸収スペクトル測定<br/>「混入異物」の赤外吸収スペクトルをデータベース検索した結果、スペクトルパターンが類似する物質として「ポリスチレン」が該当した。「混入異物」および「ポリスチレン」の赤外吸収スペクトルパターンの比較図を図-1に示す。</p> <p>3-3 燃焼試験<br/>「混入異物」は燃えやすく、燃焼臭気はスチレン特有の刺激臭がした。</p> |          |           |
| <p>4. コメント<br/>上記結果から、商品(肉)の混入異物の主成分は、＜ポリスチレン＞と推定される。</p>  |          |           |
| <p>5. 使用分析機器<br/>赤外分光光度計[FTIR-8600PC](SHIMADZU 製)</p>  |          |           |
| 報告書 No.  | 07091062 |           |

## 試料の顕微鏡写真

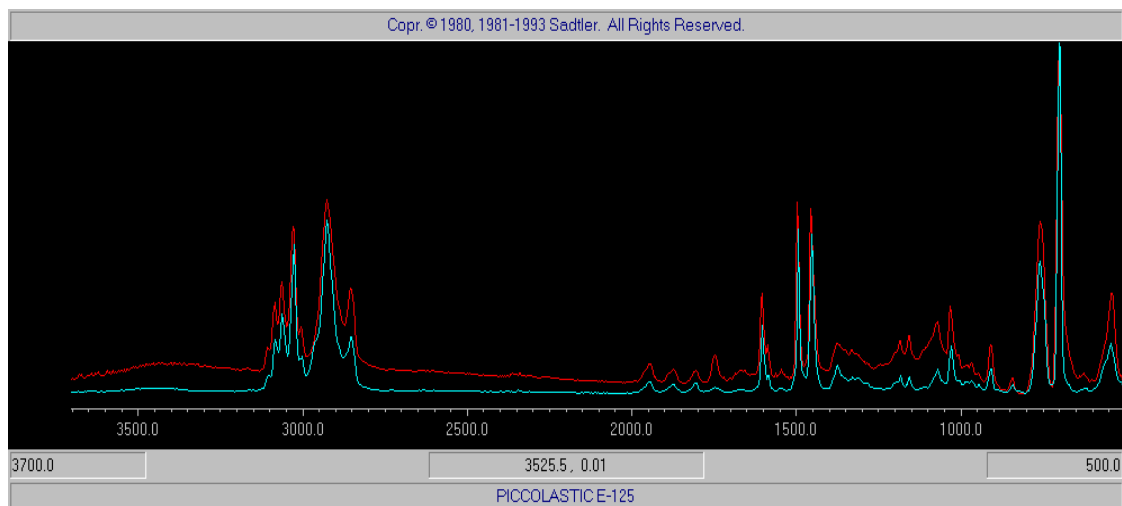
(×22)



(1目盛 0.5 mm)

写真-1 「混入異物」

## 赤外吸収スペクトル



— 混入異物  
— ポリスチレン

図-1 「混入異物」および「ポリスチレン」の比較図